

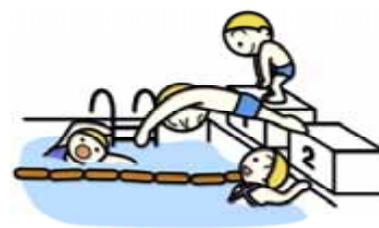
坂越中学校

学校だより

潮流

7月号

2009, 7. 1



行事予定

大空に思いをはせて・・・

いよいよ盛夏の季節がやってきました。毎日暑い日が続きます。

旧暦の7月7日は織姫星（織女（しょくじょ）：こと座のベガ、右図三角形の頂点、右の星）と彦星（牽牛（けんぎゅう）：わし座のアルタイル、右図三角形の頂点、下の星）が1年に一度天の川の上で逢うことが出来る日です。この日にちなんで、願い事を書いた短冊を笹の葉につるし、織姫星に技芸の上達を願う日でもあります。

七夕の歴史は古く、奈良時代に行われていたと言われていいます。その伝説は、中国の物語と日本に古くからあった行事が一緒になって始まったと言われていいます。

天の帝の娘の織姫星は、機織りが上手な働き者です。しかし、仕事ばかりする織姫星を心配した天の帝は、娘を天の川の向かいの岸にいる彦星と引き合わせ、結婚させました。結婚した2人は仲良く暮らしていたのですが、やがて仕事（織姫星の機織り、彦星の牛を追う）を怠けるようになったのです。怒った帝は2人を天の川の兩岸に引き離しました。しかし、その後、悲しみに暮れる織姫星を見かねた帝は、仕事に励むことを条件に、年に一度7月7日にだけ逢うことを許したのです。その日、どこからかやってきた「カササギ」が天の川に橋を架け、2人は逢うことが出来たそうです。

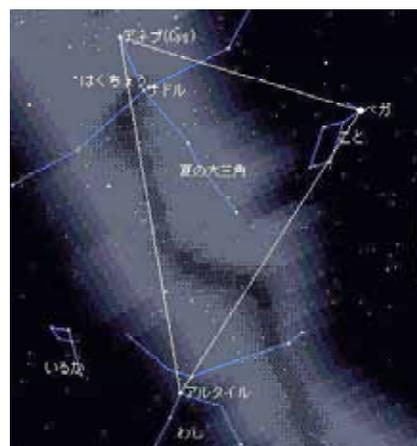
古代中国の宮廷では、この再会を祝い、織姫星にあやかって、機織りの技が上手くなるように、ひいては、手芸や手習いが上達することを願って「巧みになるように乞う祭り」（乞巧奠（きこうでん））が行われたそうです。日本では、この頃は稲の開花期にあたり、水害や病虫害などが心配な時期です。お盆（旧暦7月15日）の準備をする頃にもあたります。そこで、収穫の無事を祈り、棚機女（たなばたつめ）という織女（巫女）さんが水辺の棚の上に作られた機屋（はたや）で棚機（たなばた）と呼ばれる機織り機を使って先祖に捧げる布を織りあげる行事がありました。やがて、この行事と織姫星と彦星の話とが混じり合い、現在のような形になったそうです。もともとは、7月7日の夕方を表して七夕（しちせき）と言われていたものが、棚機（たなばた）に、ちなんで七夕（たなばた）という読み方に変わっていったそうです。

このように七夕の由来には、織姫星と彦星の物語だけでなく、手技（機織・手芸・習字など）の上達や豊作の願いが織り込まれています。そんな話に思いを馳せながら七夕を過ごしてみたいかがでしょうか。

来る7月22日には日食が起こります。日本では、全国で部分日食を観察することができます。口之永良部島等では皆既日食も観察できるそうです。日本の陸地に限ると、皆既日食が観察できるのは1963年7月21日の北海道東部で見られた皆既日食以来、実に46年ぶりです。次回も2035年9月2日の北陸・北関東などで見られる皆既日食まで26年間起こらないそうです。非常に珍しい現象です。

ゆったりとした気持ちで空を見上げるのもいいですよ。坂中生！

学校長 山根英樹



- 1 (水) P T A 委員総会
- 4 (土) 市総体（授業日）
坂越湾岸清掃
- 5 (日) 市総体
- 6 (月) 振替休業日
- 7 (火) 市総体（陸上・野球決勝）
- 9 (木) 個別面談
- 10 (金) 専門委員会
- 11 (土) 相生ペーロン祭花火大会街頭補導
- 12 (日) 相生ペーロン祭
西播総体（水泳）
- 13 (月) 個別面談
- 14 (火) 個別面談
- 15 (水) 個別面談 地区懇談会
給食最終日
- 16 (木) 地区懇談会（予備日）
- 17 (金) 終業式
- 18 (土) 西播総体
- 19 (日) 西播総体
- 20 (月) 海の日
- 21 (火) 夏季休業
- 26 (日) 県総体（～7/31）剣道(26・27)
六校園所インターネット講演会(坂中)
- 28 (火) 県総体開会式(総合体育館)



- 8月授業日
- 8/22 (土) 親子除草作業 + 授業(学活)
- 8/31 (月) 課題テスト(5教科)
- 2学期始業式
- 9/1 (火)

“ノーチャイム宣言35”

坂越中学校は、「ノーチャイム精神」を生徒会活動の基幹にかかげて、今年で35周年を迎えました。

今年の生徒会スローガン「坂中維新」は、これまでの先輩方が坂越中学校の伝統として守り続けてきたものを受け継ぎ、さらに新しい伝統を築いていこうという願いがこめられています。今日の「ノーチャイム35周年記念集会」を通して、ノーチャイムや坂中の伝統とは何か、について改めて真剣に考えることができ、すばらしい坂中にしていこうという思いが、ますます強くなりました。

「ノーチャイム精神」には、「自分で時計を見て動く」という、ただ単に時間を守るということだけではなく、「気づき・考え・行動する」「みんなに迷惑をかけない」「思いやりの心を持つ」といった、人が人として生きていく上で大切にしなければならないことがたくさんつまっています。

だから、ただ単にノーチャイムという形だけを伝統として引き継ぐのではなく、坂中生一人一人が、この「ノーチャイム精神」にこめられた真の思いを理解し、次へと引き継いでいかなければなりません。

坂中生全員が協力し、一人一人がノーチャイム精神を意識し、徹底できるようになれば、坂中は今よりもっとレベルアップできるのではないのでしょうか。

「気づき・考え・行動する」を合い言葉に、自主・自立の精神を持ち、思いやりの心を持って行動できる坂中生となるよう、これからの学校生活で意識していき、坂越中学校をさらに発展させていくことをここに誓い、「ノーチャイム宣言35」とします。



今日、尼子さんの話を聞いて、今はノーチャイムにしているだけで、先生に言われてから座ったり、時計を全然見られていなかったりするので、チャイムは鳴らないけれど、チャイムが鳴っているのと変わらないと思います。だから、もっと時計を見て、自分で動くようになって、自信を持って「坂中はノーチャイムの学校」と言えるようにならないといけないなと思いました。それで、自分がちゃんとできたら、次は周りの人に声をかけたりしたいと思いました。

(3年女子)

今日は「ノーチャイム35周年記念集会」があって、この坂中の歴史などがよくわかりました。

尼子さんが言っていたことに対して思ったのは、1つ目はそのノーチャイム精神が始まったころの生徒の人たちはすごいなあということです。なぜかというと、新しい学校になったから自分たちも変わろうとか、新しい制度を考えようとか、そんなことを僕たちは考えたことがないので、びっくりしました。

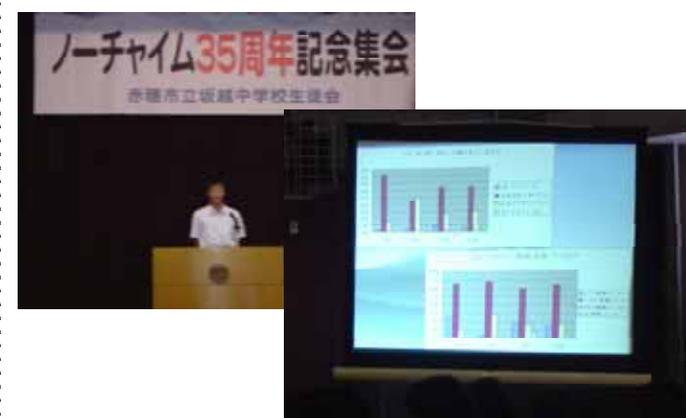
あと、最後に尼子さんが言っていた「本気になれば自分が変わるし、自分が変わればみんなが変わる」という言葉が、いい言葉だなあと思いました。

(1年男子)



6月19日(金)、ノーチャイム記念集会と題して、35年前、生徒会長だった尼子勝義氏(現・県立大附属中学校教頭)をお招きして、ノーチャイムの歴史や当時の先輩方の思いを語っていただきました。

ただ単にチャイムが鳴らないという「ノーチャイム制度」だけではなく、その根幹となる「ノーチャイム精神」=「自主自立・思いやりの心」をしっかりと引き継いでいくためにも、大変有意義な集会になったと思います。



応援よろしく!!

市総体が7月4日から始まります。西播(7/18~)、県(7/26~)へと続き、3年生にとって総まとめの大会となります。応援、よろしくお願いいたします。

| | | |
|-----|-------------|-----------|
| 野球 | 7/4(土) | 城南野球場 |
| | 7/7(火)決勝 | 城南野球場 |
| バレー | 7/4(土)・5(日) | 市総合体育館 |
| テニス | 7/4(土)団体・個人 | 海浜公園 |
| | 7/5(日)個人 | 海浜公園 |
| 剣道 | 7/4(土)団体・個人 | 赤中体育館 |
| 水泳 | 7/5(日) | 市総合体育館プール |
| 陸上 | 7/7(火) | 城南陸上競技場 |
| 和太鼓 | 8/9(日) | 坂越商業祭(夕祭) |

